

# 京都党

KYOTO PARTY  
地域政党

# 地域政党京都党結党

## 京都のことは京都市民の手で～市民主導の政治～

8月26日、村山祥栄前京都市議らによって地域政党京都党を結党。代表に就任した村山氏は「ミ二国会化している京都市議会では、来るべき地域主権時代を乗り越えることはできない。京都の将来のためには、国のフィルターを通さない地域独自の声をそのまま市政に届ける政策集団が必要」と声高に訴えた。結党には、堀場雅夫氏（堀場製作所最高顧問）や高木壽一氏（元京都市副市長）も駆けつけ、地域政党の必要性をアピールした。来年の統一地方選を控え、京都市議会に議案が提出出来る6議席獲得を目指す。



### 結党趣旨

#### 1・中央政党による地方支配からの脱却

現在の中央政党はすべて東京発。国で地方にかかわる政策を立案、決定し、地方支部がその下請けを行います。結果、中央政党と地方支部においての政策のねじれや党利党略に振り回されます。この上意下達型の組織では、地域の実態を踏まえた政策の実現は困難です。中央集権型政党政治から脱却を図り、地方独自の視点と見解を示し、地域ありきで独自政策を掲げる地域政党の存在が必要なのです。

#### 2・中央集権から地域主権へ～予算・権限の自立～

地域主権は、中央依存型からの予算・権限の移譲であり、地域が自ら政策を立案、決定することです。我々は真の地域主権に向けた都市の自立、即ち財源における自立を果たし、都市機能を高め、魅力ある都市づくりを行い、財源、都市機能の両面から自立を進めて参ります。

#### 3・真の住民自治の実現～市民ニーズの反映～

地域主権とは、住民が自らの地域に責任を持ち、住民自らが行政をつくり育むことです。住民自らの意思によって地方の自立を達成することが、地域政党の本懐です。我々は政治主導でなく、既得権益にとられない、しがらみなき市民主導の地方改革を目指します。

そして、地域主権時代の地方のかたちを～京都から日本へ～

### 目指す都市像

#### 未来に誇れる街 京都の復活

- 1、無借金都市の実現  
財政の建て直しを図り、将来に渡り安定した財務体質を創出する。
- 2、人口増加都市の実現  
将来不安の根源は人口減。人口増加を可能にする日本一住みやすい都市の実現を図る。
- 3、日本の文化首都の実現  
世界と競争出来る日本唯一の歴史文化都市としての発展を目指す。

## 京都党トピックス

### 候補者公募実施中

来年4月実施予定の統一地方選挙における市会議員選挙候補として、京都の未来を担う清新でチャレンジ精神溢れる方のご応募をおまちしております。(10月10日締切)  
詳しくはHPをご覧ください。

## 加藤市会議長へ要望書提出、まさかの拒否！ 議会は、議員定数削減に取り組む意思なし??

9月24日、地域政党京都党は加藤市会議長に議員定数削減の要望を提出したが、受理を拒否。「文面の内容からして受理できない」と議会として議員定数削減を真っ向から否定！定数削減をやる意思がないことはもちろん、議会を代表する議長の権限を逸脱した行為です。また、市民の要望を受理すらしないということは、住民自治の原則を無視した行為であり、中立でなければならない議長という公職に就きながら、政党人としての党利党略に則った政治判断だと推察せざるを得ません。これが今の議会の実態だと思うと大変残念でなりません。しかし、我々は引き続き、議会が拒否をする議員定数削減問題に取り組んで参ります。  
(9月27日緊急声明より要約)

### 結党時の報道記事一部抜粋

**既成政党に危機感**

前京都市議を中心とする地域政党「京都党」の結成で、来春の市議選は早くも混戦の様相を呈してきた。政権交代により「地方でも最大勢力」を目指す民主党政連は各選挙区で複数擁立を進めているが、京都党やみんなどの動きに危機感を隠さない。自民、共産、公明の既成政党も戦略の練り直しを迫られる。

「京都市議会は中央に支離されて、この日は候補として、2007年の前回市議選中京区で66票差の次点だった実績のあり方方針にシフトしない」と、京都新聞8月31日朝刊

らのほか、各区の候補予定者が出席した。村山氏を除き全員20代の社会人。京都党の政策として、市の起債を年間10%カットする「無借金経営都市」や議員特権の廃止などを挙げた。

同日発表した市議選候補は次の通り(敬称略)。左京区に村山祥栄(前)▽中京区に佐々木隆史▽南区に中島拓哉▽右京区に江村理紗▽伏見区に松永卓也(以上、新)

同日発表された市議選候補は次の通り(敬称略)。「既成政党への風当たりは強い。京都党は市民の期待を集めるだろう」と、(市議)と懸念する。共産党市議は「組織を固めない足をすくわれない」と話した。7月の参院選で躍進したみんなどの党、市内で一定勢力を持つ社民党も候補者擁立を目指しており、新旧七つの勢力による綱引きが始まっている。

京都市議選候補者とともに地域政党「京都党」の口を開く村山祥栄代表(左)と京都市のホテル

同日発表された市議選候補は次の通り(敬称略)。「既成政党への風当たりは強い。京都党は市民の期待を集めるだろう」と、(市議)と懸念する。共産党市議は「組織を固めない足をすくわれない」と話した。7月の参院選で躍進したみんなどの党、市内で一定勢力を持つ社民党も候補者擁立を目指しており、新旧七つの勢力による綱引きが始まっている。

京都市議選の村山祥栄氏(左京区)は30日、来年の市議選に向けて地域政党「京都党」を結成した、と発表した。市議選では村山氏を含め五つの選挙区ですべてに候補者を決定。今後、複数擁立も視野に全11選挙区で公募を実施する。村山氏は「一人でも多く候補者を立て、最低でも政策条例を議員提案できる6議席以上の獲得を目指す」としている。

京都党は、既成政党最高顧問の堀場雅夫が占める市議会で「市民主導の政治」を行うことを目指し、代表を務める村山氏の支持者の高木寿一の両氏が務める。京都市内で開かれた記者会見には、堀場氏

前京都市議ら

# 「京都党」旗揚げ

市議選 6議席以上目標